



平成 19 年 5 月 18 日

各 位

会 社 名 日 本 農 産 工 業 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 堀 尾 守  
(コード番号 2051 東証・大証第 1 部 )  
問 合 せ 先 執 行 役 員 経 営 企 画 室 長 田 中 猛  
(TEL. 045-224-3717)

### 当社株式に対する公開買付けに関する意見表明のお知らせ

当社は、平成 19 年 5 月 18 日開催の取締役会において、三菱商事株式会社（コード番号 8058、以下「三菱商事」といいます。）による当社株式の公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）について賛同の意を表明することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 公開買付者の概要

- |   |                                    |       |
|---|------------------------------------|-------|
| (1) 商号  | : 三菱商事株式会社                         |       |
| (2) 事業内容  | : 総合商社                             |       |
| (3) 設立年月日   | : 昭和 25 年 4 月 1 日                  |       |
| (4) 本店所在地   | : 東京都千代田区丸の内二丁目 3 番 1 号            |       |
| (5) 代表者の役職・氏名   | : 代表取締役社長 小島 順彦                    |       |
| (6) 資本金   | : 198,618 百万円 (平成 18 年 9 月 30 日現在) |       |
| (7) 大株主及び持株比率 (平成 18 年 9 月 30 日現在)                        |                                    |       |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)                                  |                                    | 7.50% |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)                                |                                    | 6.90% |
| 東京海上日動火災保険株式会社  |                                    | 5.52% |
| 明治安田生命保険相互会社  |                                    | 4.71% |
| 三菱重工業株式会社   |                                    | 2.90% |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行   |                                    | 2.53% |
| ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー<br>(常任代理人 株式会社みずほコーポレート銀行)       |                                    | 1.97% |
| ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー505103<br>(常任代理人 株式会社みずほコーポレート銀行) |                                    | 1.49% |
| ザチェースマンハッタンバンクエヌエイロンドン<br>(常任代理人 株式会社みずほコーポレート銀行)         |                                    | 1.40% |
| 野村信託銀行株式会社 (退職給付信託・三菱UFJ信託銀行口)                            |                                    | 1.31% |

## (8) 当社との関係等

資本関係： 当社株式 26,900 千株（発行済株式総数の 20.80%）（平成 18 年 9 月 30 日現在）を保有しています。

人的関係： 公開買付者より監査役 1 名の派遣を受けております。

取引関係： 公開買付者から配合飼料原料であるトウモロコシ及び大豆粕等を購入しております。

関連当事者への該当状況： 公開買付者の持分法適用関連会社です。

## 2. 本公開買付けに関する意見の内容、根拠及び理由

当社は、平成 19 年 5 月 18 日開催の取締役会において、三菱商事による当社株式の公開買付けについて、賛同の意を表明する旨決議いたしました。

三菱商事は、当社の発行済株式総数の 20.80%（平成 18 年 9 月 30 日現在）を保有する筆頭株主であり、当社へ飼料原料等を販売するとともに、当社で製造した飼料の一部を購入して同社グループの畜産物生産会社に販売しております。当社は、同社から飼料原料の安定供給を受けながら、同社の持つ飼料畜産に関する世界的な情報や畜産物の販売機能の活用と人事交流を通じて、当社事業を強化してまいりました。当社と同社は、国内畜産の生産構造の変化に対応した飼料工場再配置のために、当社飼料工場の建設や飼料製造の合弁会社設立、運営で連携するとともに、農場生産や食肉生産・販売の合弁会社の設立・協業を行うことで、配合飼料生産から食肉販売事業におけるパートナーとして長らく良好な関係を築いてきております。

国内の配合飼料市場は、人口の減少、畜産業の後継者不足、輸入畜産物との競争により厳しい状況にありますが、消費者の「安心・安全」志向による国産畜産物へのニーズは強く、今後は漸減傾向ながらも一定の市場規模を維持するものと思われれます。

このような中、当社は三菱商事が持つ川上から川下までの一貫したバリューチェーンと、当社が長年培ってきた配合飼料の研究開発、生産技術及び生産・販売のインフラの連携を強めることで畜産配合飼料事業の拡大と質的向上が可能となり、さらには当社がコア事業として推進している水産飼料、鶏卵及びペットフードの各事業分野においても、三菱商事の国内販売力及び海外での事業展開力と連携させることでシナジー効果を発揮させ、収益基盤の強化と企業価値の向上が可能となるものと考えております。

当社株式は東京証券取引所市場第一部及び大阪証券取引所市場第一部に上場しておりますが、三菱商事は、買付けを行う株券等の数に上限（議決権比率 66.00%）を設定するにあたっては、当社の大株主の状況、本公開買付けへの応募の見込等も勘案しておりますので、本公開買付け後も、引き続き上場は維持される見込みであります。また、三菱商事は、買付けを行う株券等の数に下限を設定せず、応募株券等はすべて買い付けることとしております。

本公開買付けは、当社の株主の皆様に対して近時の市場株価よりも有利な株価にてその保有する株式の売却機会を提供するものであります。本公開買付けの買付価格である 1 株当たり 380 円は、東京証券取引所市場第一部における当社の普通株式の、平成 19 年 5 月 17 日までの過去 1 ヶ月間の終値の単純平均 295 円（小数点以下四捨五入）に 28.81%、平成 19 年 5 月 17 日の終値 305 円に対

して 24.59%のプレミアムを、それぞれ加えた水準となります。

当社は、公開買付者である三菱商事の持分法適用関連会社に該当しますが、三菱商事とは別個に、第三者算定人であるPwCアドバイザリー株式会社に当社の株式価値の算定を依頼し、平成19年5月17日に当社の株式価値に関する算定書を取得しました。その内容を参考にして、当社は、平成19年5月18日開催の取締役会において、本公開買付けに関する諸条件について慎重に検討した結果、取締役5名全員一致で、本公開買付けの諸条件は妥当であると判断し、本公開買付けに賛同する旨を決議いたしました。なお、三菱商事から派遣されている監査役藤井明は上記取締役会における審議には参加しておりません。

3. 公開買付者又はその特別関係者による利益供与の内容

該当事項はありません。

4. 会社の支配に関する基本方針に係る対応方針

該当事項はありません。

5. 公開買付者に対する質問

該当事項はありません。

6. 公開買付期間の延長請求

該当事項はありません。

7. その他

当社は、本公開買付け後に三菱商事の子会社となった場合、会社法第135条第3項の規定に従い、当社が所有する三菱商事の普通株式482,952株を相当の時期に処分することとなります。この場合、東京証券取引所市場第一部における平成19年5月17日の終値2,670円ですべて処分できたとすると特別利益として約1,075百万円の投資有価証券売却益を計上することとなります。なお、本件については、不確定事項のため、平成19年4月27日発表の決算短信における平成20年3月期の業績予想（連結・個別）には織り込んでおりません。

以上

※本日開示の三菱商事株式会社の「日本農産工業株式会社株式に対する公開買付け開始に関するお知らせ」をご参照くだされば、幸いです。